

ユニオンファンド 月次レポート

第 149 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2021年4月6日作成

MONTHLY TOPIC

こんなに上がって大丈夫？

下がっても上がっても心配になる投資家心理

日経平均株価が 30,000 円の大台に乗せ、米国の主要な株価指数の一つである S&P500 も先週 4,000 ポイントを超えました。1 年前、新型コロナウイルスの感染症が広がって株価が急落した際には、いずれ上昇に転じると確信してはいましたが、これほどの急上昇は正直なところ予想していませんでした。

株価の上昇が速いため、そろそろ下がるのではないかと多くの投資家が新たな不安にさいなまれているようです。下がったら先行きを心配し、上がったら上がったでまた心配するというのは、実に興味深い心理状態ですが、それはさておきまして、長期の資産づくりを目指してつみたて投資を継続しておられる多くのお客様の中にも、つみたての金額を減らそうかとか、一旦停止しようかと悩んでいる方がいらっしゃるのではないのでしょうか。

売る人がいれば必ず買う人もいる

当たり前の話ですが、私たちが株式を売るためには、必ず買う人がいなくてはけません。高いなあ、売ろうかなあと株価を眺めつつ考えている人の反対側には、買った方がいいのではないかと考えている人がいます。株価の動きは上がるか下がるかだけではなく、少しだけ上がってから大きく下がるかもしれませんし、大きく上がったから少し下がるだけかもしれません。また、その逆もあるでしょう。どれが正解かは後にならないとわかりませんから、多くの人にとっては考えるだけ無駄というものです。

株価上昇を支えてきたもの

よく引き合いに出す話ですが、1930 年代の米国株は悲惨でした。1929 年 9 月にダウ平均は 381 ドルの史上最高値に達した後、1932 年 7 月には 41 ドルまで下落しました。しかし今や 3 万ドルを優に超えています。日経平均は長く高値を超えられず苦労していますが、第 2 次大戦後の取引再開時に 176 円だったものが、1989 年末には 39,000 円に迫りました。考えるべきなのは、当面の株価の上げ下げではなく、このように株価が長期的に上昇したのはなぜなのか、ということでしょう。

直接的には企業の利益が増え続けてきたからですが、さらに踏み込んで言うなら、人々の購買力が高まり、社会が豊かになり続けてきたからです。より豊かになりたいと努力する人々が次々に現れてくるなら、生産活動の場である企業もまた、成長し続けることでしょう。株価は一時的に下がることはありますが、豊かになりたいという人々の強い気持ちが消えない限り、企業の成長と株価の高値更新はこれからも続いていくと思っています。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2021年3月末現在)

基準価額

29,665 円

純資産総額

92 億 77 百万円

期間別騰落率(%)

1 ヶ月	1.53%
1 年	48.15%
3 年	21.15%
5 年	50.67%
10 年	114.70%
設定来	196.65%

複利年率(%)

9.13%

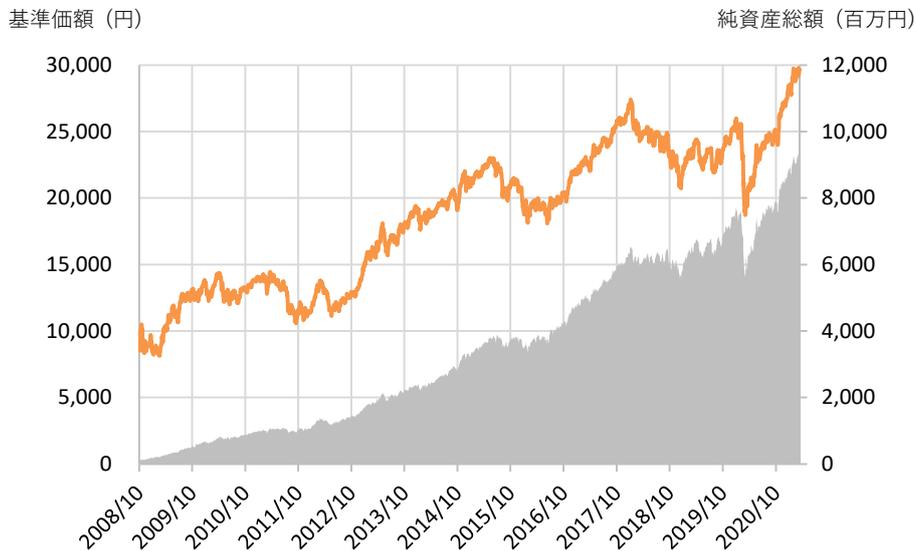
*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2021年2月末現在)

基準価額と純資産総額の推移



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	5.7%	3.7%
スパークス F	日本	11.7%	6.6%
キャピタル F	欧米	16.9%	4.0%
ハリス F	欧米	20.1%	3.6%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	9.8%	3.1%
コムジェスト・エマージング F	新興国	26.1%	-3.7%
現金等	-	9.8%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2021年3月の市場動向と運用状況

投資環境

世界の株式市場は総じて堅調でした。米国では長期金利の上昇が株価の重荷となりましたが、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいることや景況感の改善、バイデン政権による巨額の経済対策への期待が追い風となりました。欧州ではコロナ感染が増加傾向にあり、各地で感染防止策が強化されたことなどから、特にサービス業の回復の遅れが不安視されましたが、製造業の景況が好調だったため、全体としては緩やかな上昇が続きました。

一方、新興国の株価は下落しました。中国などでは、米国のハイテク株が総じて軟調だったことから、元々割高感があったIT関連株に連想的な利益確定売りが出ました。また、ブラジルでは、連邦最高裁判所がルラ元大統領の汚職事件に関する下級審の有罪判決を無効としたことを受け、来年の大統領選に同氏が出馬し政局が混乱するとの不安が広がって株価は一時急落しました。インドでは、足元でコロナ感染者数が急増しており、首都を含め多くの地域で隣接する州との往来が制限されるなど、規制措置が広がったことが響きました。こうした各国固有の理由のほか、米国金利とドルの上昇を受けて新興国から資金が逆流したこともマイナスだったと見られます。

為替市場では、米国の景気回復力の強さと相対的な金利高を背景にドルが上昇し、円やユーロは下落しました。新興国通貨は、対ドルでは若干下落したものの、円に対しては上昇しました。

運用の状況

組入ファンドのうち、スパークスFは日本の小型株の反発を背景に大きく値上がりしました。その他のファンドも全般に好調でしたが、コムジェストEMFは新興国株の軟調から値下がりで終わりました。

3月は売り買いともに見送りました。月末時点の組入比率は90.2%と、前月末とほぼ同水準でした。

今後の見通し

当面の株価は、ワクチン接種の進展を含めたコロナ感染症の推移と米国金利の動向に影響されやすいと見ています。長期金利については、欧州などで頭打ちとなっているものの、米国では上昇が続いています。現水準程度では景気の足を引っ張るほどではないと思われませんが、景気回復とインフレ率の上昇で金利がさらに押し上げられた場合には、注意が必要になってくるかもしれません。また、短期金利は上がっていませんが、先物市場では、政策金利であるFF（フェデラルファンド）金利の引き上げを前倒しで織り込む動きが見られます。コロナに関しては、ワクチン接種の進み具合などによって、国ごとの景気の強弱が分かれる状況が続く可能性がありそうです。

金融緩和を背景に大量の資金が資産市場に流れ込んでいるため、このところ株高が続いていますが、PERなどのバリュエーション指標は米国を中心に総じて株価が割高であることを示唆しています。また、投資家心理は楽観的で、リスクを軽視する傾向も見られます。借入資金を活用した大口の投資家が想定外の株価変動で損失をこうむり危機に陥るなど、ふとしたきっかけで状況が変わることもあるかもしれません。

金融緩和と景気拡大という二つの大きな好環境に恵まれ、株価は上昇トレンドの中にあると考えていますが、半面、波乱含みとなる要素もいくつか見られます。これらの点に十分留意して今後も運用にあたっていく方針です。

運用責任者 久保田徹郎

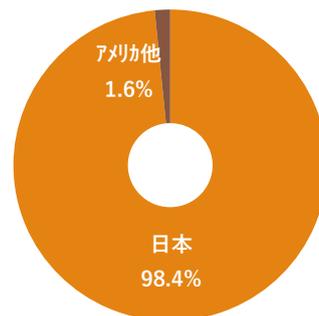
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



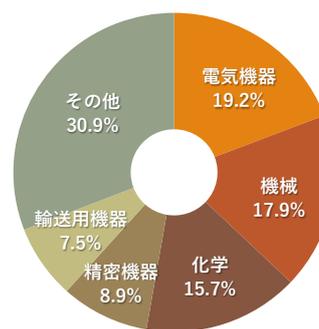
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 日本電産	6.8%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
2 ダイキン工業	4.8%	日本	機械	エアコン世界首位
3 信越化学工業	4.2%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
4 浜松ホトニクス	4.1%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
5 TOTO	3.7%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
6 プリヂストーン	3.6%	日本	ゴム製品	タイヤ世界大手
7 テルモ	3.4%	日本	精密機器	医療機器(カテーテル)
8 花王	3.1%	日本	化学	トイレット首位
9 トヨタ自動車	2.7%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
10 デンソー	2.3%	日本	輸送用機器	世界的自動車部品メーカ
上位10銘柄	38.6%		現金等	5.9%

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2021年3月末現在 >

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



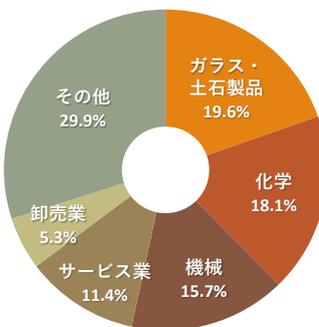
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
シップヘルスケアHD		日本	卸売業	医療機器・設備
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
TOTO		日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
三浦工業		日本	機械	産業用小型ボイラー大手
竹内製作所		日本	機械	小型建設機械
ベイクレント・コンサルティング		日本	サービス業	総合コンサルティング会社
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
エフビコ		日本	化学	食品トレなど容器の大手
現金等			現金等	5.9%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2021年2月末現在 >

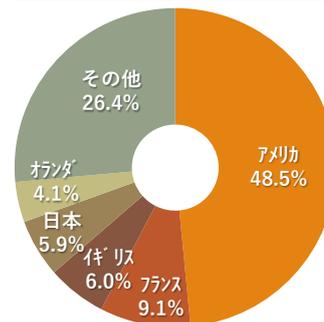
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



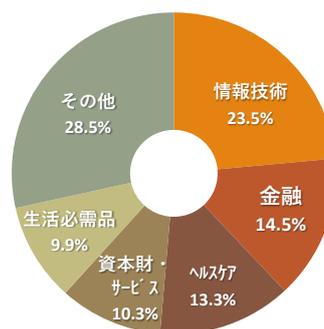
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC	3.0%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 ASML	2.5%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
3 Broadcom	2.2%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
4 AIA	1.8%	香港	金融	生保・金融サービス
5 Visa	1.7%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
6 Apple	1.5%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
7 Microsoft	1.4%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピューター・ソフト
8 Safran	1.4%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
9 AstraZeneca	1.4%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
10 Novo Nordisk	1.4%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
上位10銘柄	18.3%	現金等	4.7%	

業種別構成比



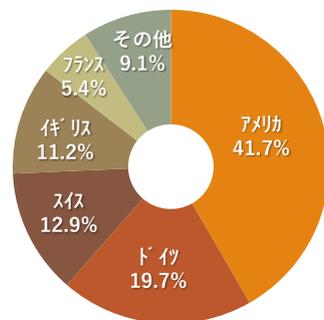
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年2月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュー株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



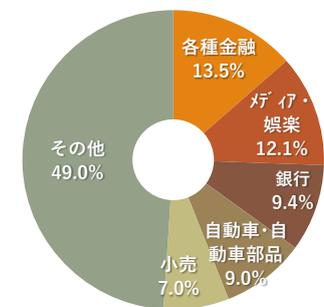
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 BNP PARIBAS	5.2%	フランス	銀行	フランス大手銀行
2 ALPHABET	5.1%	アメリカ	メディア・娯楽	ゲーグルの持株会社
3 CREDIT SUISSE	5.1%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
4 DAIMLER	4.8%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
5 GLENCORE	4.8%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
6 BAYER	4.4%	ドイツ	医薬品・バイ	大手化学医薬品メーカー
7 ALLIANZ	4.2%	ドイツ	保険	総合保険大手
8 CNH INDUSTRIAL	3.7%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
9 BERKSHIRE HATHAWAY	3.5%	アメリカ	各種金融	保険事業を主軸とする持株会社
10 JULIUS BAER	3.1%	スイス	各種金融	プライベートバンク
上位10銘柄	44.0%	現金等	3.1%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年2月末現在>

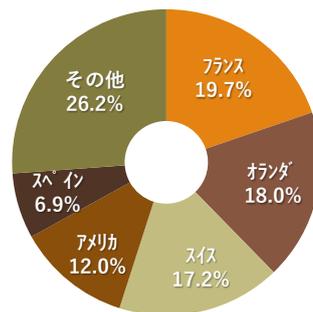
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



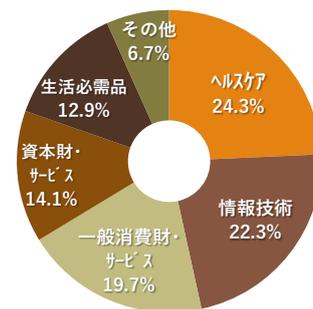
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ASML HD	7.2%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
2 ROCHE HD	5.0%	スイス	ヘルスケア	医薬品・診断薬
3 LINDE	4.1%	アメリカ	素材	産業ガス世界大手
4 PROSUS	3.7%	オランダ	一般消費財・サービス	消費者向けインターネット
5 NOVO NORDISK	3.6%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
6 ACCENTURE	3.6%	アメリカ	情報技術	総合コンサルティング会社
7 INDITEX	3.6%	スペイン	一般消費財・サービス	アパレルメーカー
8 ICON	3.6%	アメリカ	ヘルスケア	医薬品開発受託
9 LVMH	3.3%	フランス	一般消費財・サービス	ファッション等高級ブランド世界大手
10 EXPERIAN	3.2%	イギリス	資本財・サービス	データベース・分析ツールの提供
上位10銘柄	41.1%	現金等	5.6%	

業種別構成比(マザーファンド)



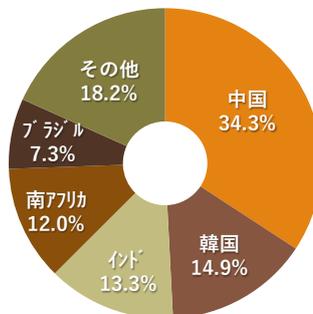
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年3月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



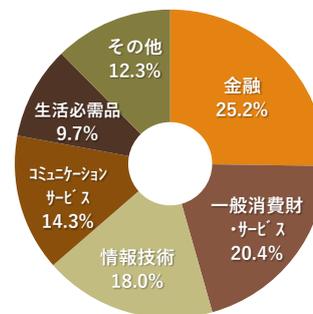
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 SAMSUNG ELECTRONICS	7.4%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
2 ALIBABA	6.2%	中国	一般消費財・サービス	電子商取引サイト
3 PING AN INSURANCE	6.1%	中国	金融	保険大手
4 HOUSING DEVELOP. FINANCE	5.5%	インド	金融	インド最大手の住宅開発金融会社
5 NASPERS	5.4%	南アフリカ	一般消費財・サービス	ゲイ。中国TENCENTの大株主
6 TSMC ADR	4.7%	台湾	情報技術	半導体メーカー
7 NC SOFT	3.7%	韓国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
8 SANLAM	3.4%	南アフリカ	金融	アフリカの保険大手
9 AUTOHOME ADR	3.3%	中国	コミュニケーションサービス	自動車情報サイト
10 MARUTI SUZUKI	3.2%	インド	一般消費財・サービス	スズキの子会社
上位10銘柄	48.9%	現金等	1.3%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年3月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目録見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

取引残高報告書について

今回、「2021年1月～3月」の期間中にお取引があったお客様を対象に、郵送にてご報告しています。

- ※ 口座に残高があるお客様で、前回の「取引残高報告書」作成日以降お取引がない場合には、1年毎に「取引残高報告書」にてご報告いたします。

「お取引の明細と預り金の残高明細」の見方

記載対象期間内にお取引された明細および作成日現在のお預り金の残高です。

- ※ 最後に表示される「お預り金」につきましては、“作成日現在”でユニオンファンドの買付が完了していない場合にはその金額が、完了している場合には「0円」が表示されます。

「お預り証券等の残高明細」の見方

お預り証券等の残高明細（イメージ）

銘柄名	数量	評価金額合計 [a]	運用損益[a-b+c]	円
	基準価額	投資金額 [b]	※a,b,c 及び運用損益は全預り通算で算出	
(預り区分)	評価金額	受取金額 [c]		
(決算日)	取得単価	個別元本		

数量	ユニオンファンドの残高口数です。
基準価額	作成日（2021年3月31日）現在の基準価額です。
評価金額	作成日現在の残高の「評価金額」です。 （「評価金額」＝「数量」×「基準価額」÷10,000で算出されます。）
取得単価・個別元本	これまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均です。 一般口座でのお取引の場合は、「個別元本」のみが表示されます。
評価金額合計 [a]	評価金額の合計です。
投資金額 [b]	ご購入された金額の累計です。 ※ 相続等により入出庫があった場合は、入出庫分の購入金額または取得価額に相当する金額が増減されます。
受取金額 [c]	ご解約された金額及び受取分配金額の累計です。 ※ ユニオンファンドは設定来、分配金を出しておりません。
運用損益[a-b+c]	作成日現在の運用損益です。 「運用損益」＝「評価金額合計」－「投資金額」＋「受取金額」

ご不明な点がございましたら、弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。